



論説・研究・随想

金峰山の附近 小野 幸 五五二
 甦る山・菅名連峰 樋口宗一 五五二
 俳句 十一月の山日記 川崎精雄 五五二
 「高山病に関する国際的合意」について 中島道郎 五五二
 新しく入会された皆さんへーオリエンテーションにおける織内信彦名誉会員の講演から 文責 南川 五五三
 日本山岳会所蔵の地図類について(1) 児玉 茂 五五三
 南アルプスの村に湯場開場の資料が 田畑真一 五五三
 自然保護憲章と五輪塔ー永遠の哲理を表象ー 広瀬 潔 五五四
 日本山岳会所蔵の地図類について(2) 児玉 茂 五五五
 北岳への外人初登頂者は 田畑真一 五五五
 フイリモア「印度測量局記録集」ーその五巻についてー 雁部貞夫 五五六
 短歌 雲海 大橋克也 五五六
 日本山岳会所蔵の地図類について(3) 児玉 茂 五五六

目録(日本山岳会)

自五五二号〜至六〇〇号
 (一九九一年四月〜一九九五年五月)

焼却爐の中から 神谷量平 五五六
 俳句 大佐渡の山 小林碧郎 五五六
 神谷さんの話に添えて一言 河野幾雄 五五六
 短歌 アムネマチンの周囲 伊佐九三四郎 五五八
 浅間山の女性遭難の頃 中村テル 五五八
 昭和天皇、環境行政へのご関心 田畑真一 五五八
 『印度測量局記録集』第五巻ー本誌九月号の記事補正ー 雁部貞夫 五五八
 南方熊楠とガウランド、ウエストンの交流について 開発秀三 五五九
 ウエストンの乗鞍岳登頂と富士山 田畑真一 五五九
 俳句 秋の立山 小林碧郎 五五九
 山で困ったこと・無数の蛇 遠藤泰孝 五六〇
 日本三百名山の新リスト作成 山で困ったこと・釣橋とカゴの渡し 五六一
 『南アルプス登山日記』が 田畑真一 五六二
 日本三百名山選定の経緯 アルバート後日譚に関する往復書簡について 島田 巽 五六二
 短歌 自然と人生 大橋克也 五六二
 誤記の訂正 織内信彦 五六二

ウエストンの斧頭水杖 田畑真一 五六三
 フォン・レルヒのスキー登山 久保田全五六三
 三角点の向きについて 古市 進 五六四
 故森山欣司運輸大臣と芦安村 田畑真一五六四
 短歌 四句 榛葉華子 五六四
 俳句 雨の磐梯山 小林碧郎 五六四
 短歌 越中・人形山 大橋克也 五六六
 遭難：私の考え方 西山秀夫 五六七
 山に新しい危険？ 今井通子 五六八
 俳句 木暮祭 田口二郎 五六八
 『諏訪多文庫』について 川崎精雄 五六八
 W・ウエストンと辻本満丸 望月達夫 五六八
 詩 雲の塔 田畑真一 五六八
 荒賀憲雄 五六八
 富士山をめぐる最近の話題 Y・M 五六八
 短歌 一九九二、夏・千丈沢 小林碧郎五六八
 樺太の山突岨山 宇都木慎一 五六九
 ポーランド岳人消息 麻生武治 五七〇
 後から思い出したらウエストン 沖 允人 五七〇
 近畿の名山・一〇〇 宮崎日出一 五七二
 俳句 小川碧郎 五七二
 皇太子殿下のご婚約を祝う 木下是雄 五七三
 ウエストンのスライドに名取連一の家が 田畑真一 五七三
 短歌 荒川三山花訪ね旅 榛葉華子 五七三
 赤シャツ由来記 山本隆三郎 五七四
 臨時総務委員体験記 中世古陰司 五七四
 昔の山小屋点描 中井修二 五七四
 ウエストンに逢った 田畑真一 五七四
 山と自然の断章(1) 岡村治信 五七五
 俳句 八方尾根懇親スキー行 西山秀夫五七五
 俳句 英彦山、福岡支部大会他 小林碧郎 五七五
 ウエストンの隣りに岡野金次郎 田畑真一 五七五
 一寸昔話 増本 茂 五七五
 短歌 カラコルム行 伊佐九三四郎 五七五
 狩野家の登高帖 阿部和行 五七六

智異山の思い出 中村テル 五七六
 山と自然の断章(2) 岡村治信 五七六
 ウエストンと九州の山々 田畑真一 五七六
 俳句 集会委員会山行 黒斑山 小林碧郎 五七六
 短歌 春の上ノ岳西尾根(山) 宇都木慎一五七六
 アーネスト・サトウと武田久吉 庄田元男 五七七
 俳句 エジンバラ寸描 川崎精雄 五七七
 山と自然の断章(3) 岡村治信 五七七
 短歌 春の上ノ岳西尾根(下) 宇都木慎一五七七
 俳句 春の五竜行 勝田房治 五七七
 ウエストンが使った水銀気圧計 田畑真一 五七七
 山と自然の断章(4) 岡村治信 五七八
 『山』の編集をふり返って 小倉 厚 五七八
 ウエストンと人力車夫 田畑真一 五七九
 ウエストンの動向を示す古い葉書 開発秀三 五七九
 俳句 金峰山、木暮祭、小橋山 小林碧郎 五七九
 日本山岳会が包含する当面の問題点 藤平正夫 五八〇
 山と自然の断章(5) 岡村治信 五八〇
 ケルンの回顧 中井修二 五八〇
 ウエストンと市野瀬の村長 田畑真一 五八一
 台湾に岳友あり 木村俊博 五八二
 山に忘れたステッキ 高澤英雄 五八二
 『山岳総合索引』について 浅野孝一 五八二
 ウエストンが寄贈した写真 開発秀三 五八二
 山と自然の断章(6) 岡村治信 五八三
 短歌 月山の秋 大橋克也 五八三
 俳句 木曾駒、宝剣岳 小林碧郎 五八三
 詩 秋山の心 石田喜八 五八三
 富山藩主の金剛堂山登山について 廣瀬 誠 五八四
 ウエストンとオベリスク 田畑真一 五八四
 短歌 早池峰山・初冬 大橋克也 五八四
 神秘としかいえないような 神祕としかいえないような 神祕としかいえないような 松田雄一 五八五
 一通だけの中村勝郎さんの手紙

山と自然の断章(7) ヨロッパ・アルプスの山岳地図について 胸にしまっておいた深田さんのこと 「四松庵」山の会での寄せ書き 山と自然の断章(8) 富士山が見える二番目の遠隔地 ウエストンの明神岳への視線 俳句 三水会・高岩山集会以て	望月達夫 五八五 岡村治信 五八五 児玉茂 五八五 山本健一郎 五八六 開発秀三 五八七 岡村治信 五八七 高島真一 五八七 田畑真一 五八七	山と自然の断章(9) 私の海外の山々 深田さん、横さんのことなど 山と自然の断章(9) ウエストンの動向を示す古い葉書・「山」五七三号の統報 俳句 雪山 二十歳代入会者数の推移 短歌 五月の遠見尾根 宇都木慎一 五九一 ウエストンと大町の民家の写真 田畑真一 五九一 木暮先生追悼小集会と先生の絶筆 川崎精雄 五九二 アルバート山のピッケル マザマ山岳会のエアーズ氏のこと 短歌 風の声聴く 大橋克也 五九三 詩 熊岩(長次郎雪溪) 塔田也寿 五九三 ウエストンが磯野計蔵に贈った「日本アルプス」登山と探検 田畑真一 五九三 山と自然の断章(10) 日本山岳会の象徴 ルームの今昔 織内信彦 五九四 ホークスの山 北アルプスを越えるタカの渡り 植松晃岳 五九四 魚沼駒ヶ岳とオオカミ 佐藤芝明 五九四 今西さんの登頂山名リストにもれた山	和田庄司 五九四 坂倉登喜子 五九五 岡村治信 五九五 小林碧郎 五九五 大橋克也 五九五 塔田也寿 五九五 統報二つ「四松庵」山の会での寄せ書き ウエストンが寄贈した写真 開発秀三 五九五 今西さんの「登頂山名リスト」に二山が欠けている 阪上義次 五九六 魚沼駒ヶ岳「骨投沢」の由来 川崎精雄 五九六 ウエストンと明治四十五年の講演会 田畑真一 五九六 ウエストンと箱根の大地獄 田畑真一 五九七 会長への手紙 山口俊輔 五九七 俳句 鎌倉アルプス 小林碧郎 五九七 詩 神々の座 奥野道治 五九七 高野鷹蔵氏の書簡から(1) 望月達夫 五九八 骨投沢は「小繋沢」か 佐藤一栄 五九八 皇太子殿下と南アルプスの村「芦安村誌」 田畑真一 五九八 八十五年前の手紙「四松庵」における新年晩餐会の感激を綴る 南川金一 五九八 単身の山(1) 砂田定夫 五九八 高野鷹蔵氏の書簡から(2) 望月達夫 五九八 俳句 八方尾根懇親スキー行 西山秀夫 五九九 詩 ハクサンゴクラ 塔田也寿 五九九 俳句 三水会現地集会以て 勝田房治 五九九 中倉家でみつかったウエストンの写真 小野 健 五九九 会報「山」六〇〇号の足どり 会報の今昔 付記「山」(会報)の編集者について 望月達夫 六〇〇 六〇〇号を迎えて 織内信彦 六〇〇 二三四号から五七七号までの二十年(一九七二〜一九九三) これからの会報「山」よりよい会報をめざして 伊藤 敏 六〇〇 「骨投沢」始末記 佐藤芝明 六〇〇 骨投沢は小繋沢が妥当 川崎精雄 六〇〇	単身の山(2) 短歌 霧の彼方 韓国の山名などについて 訂正とお詫び 海外通信 ダウラギリ峰を二十年振りに尋ねて ヒマラヤドライブ九〇〇キロ村山雅美五五二 八十四歳北極・グリーンランドを行く(1) カラパタル便り(1) カラパタル便り(2) アドレドより 八十四歳北極・グリーンランドを行く(2) ザース フェーを訪ねて ヨハネスブルグ便り 南アフリカ山岳会の百周年記念パーティーに出席して ヒマラヤのエーデルワイス探訪記 スコットランドペン・ネヴィスから Critical便り 十五回続いた「花と水河の旅」 アドレドより アンタラクティックウオーク南極探検隊より 十四度目のネパール IMF会議に出席して オーストリア ハンスの丘と水河歩き 南極点探検隊より チャンジよりの便り 石村実・日満子五七二 一緒にいかが タンポチ僧院の訪問五七二 ブロード・ピーク登山と植林トレッキング隊員募集!! 小倉 厚 五七三 南極旅行 アンタラクティックウオーク南極点	砂田定夫 六〇〇 大橋克也 六〇〇 石田稔郎 六〇〇 田畑真一 六〇〇 太田徳風 五五一 岩本美津雄 五五三 山本朋三郎 五五三 山本朋三郎 五五四 中村テル 五五五 岩本美津雄 五五五 富田健一 五五六 阪本公一 五五七 阪本公一 五五八 坂倉登喜子 五五八 大森久雄 五五九 雁部貞夫 五五九 坂倉登喜子 五五九 中村テル 五六二 吉川謙二 五六六 山本朋三郎 五七〇 大森弘一郎 五七一 坂倉登喜子 五七一 五七二 五七二 五七二 小倉 厚 五七三 松原尚久 五七七 昌吉(チャンジ)より 石村実・日満子五七六 アルパイン・クラブの建物を訪う 川崎精雄 五七七 台湾を訪問して 大森弘一郎 五八一 モンブラン頂上で傘寿を祝う 同時に海外山岳百五十登達成 脇坂順一 五八二 花咲く丘に涙して 坂倉登喜子 五八五 ヘーデンの世界 西蔵縦断の旅 増田昌士(司) 五九〇 曾遊の合歡北峰五十六年ぶり再訪記 平林秀雄 五九二 タンポチエの僧院とエーデルワイスを訪ねて 坂倉登喜子 五九三 ヘーデンの世界 トランス・ヒマラヤ越え 増田昌士(司) 五九四 青蔵高原へ コーカサス・ヒマラヤを行く 中垣淑子 五九五	国内通信 知床岳登山記(2) 川口慧海顕彰立像について 燧岳と至仏岳 霧の徳本峠越え 多摩源流への憧れ 海別岳―流水の見える山(1) 海別岳―流水の見える山(2) 新入会員の弁 天狗さんと新緑の山歩き 「竹節作太翁の碑」建立 霧島山・新燃岳の登山禁止(Y・M) 年次晩餐会と親睦山行に参加して 大野山・別行動・釈明記 久保孝一郎 五六一 「坂本直行記念館」がオープン 小倉 厚 五六八 山里寿男「山のテッサン館」オープン 小倉 厚 五六八 新緑の徳本峠越え 坂倉登喜子 五六八 麻生武治先生への返信 山口一孝 五六九 二四〇〇級級の山 南川金一 五七〇
---	--	---	--	--	--	--

<p>鳥字を支えた岳人 (林正敏著) 岡沢祐吉五五二</p>	<p>◆一般図書</p> <p>山里寿男「山のデッサン館」オープンング・セラモニー (Y・M) 五七〇</p> <p>北アルプス常念岳のこまくさ 坂倉登喜子 五七〇</p> <p>“Das glib's nur einmal” 今井友之助 五七三</p> <p>安達太良・鬼面山(山) 大橋克也 五七三</p> <p>安達太良・鬼面山(下) 大橋克也 五七四</p> <p>山里寿男「山のデッサン館」をたずねて 高橋てる子 五七四</p> <p>緑萌える花の島々谷から徳本峠を越えて 坂倉登喜子 五八一</p> <p>釈迦岳と越敷岳 渡辺智俱人 五八一</p> <p>新潟の朝日山 岡沢祐吉 五八二</p> <p>早朝の礼文岳 一九九三年八月 松田孝一 五八三</p> <p>北穂高に魅せられる 中井修二 五八三</p> <p>二番目の望遠地点 八剣山から富士山を見る 高島真一 五八三</p> <p>熊の平の『処女水』と迷走登山 佐藤芝明 五八三</p> <p>穂高岳で見た外国人登山者の実態 石田稔郎 五八四</p> <p>年次晩餐会と親睦山行に参加して 中井修二 五八六</p> <p>北海道・岬山の「オオヒラウスユキソウ」 坂倉登喜子 五八六</p> <p>ウエストンの恵那山登頂百周年！その記念 田畑真一 五八六</p> <p>山行に参加して 中川金一 五八八</p> <p>八十二歳・織田名誉会員冬の中央アルプスに登る 大橋克也 五九一</p> <p>雨の面白山紅葉川 西堀榮三郎記念「探検の殿堂」滋賀県湖東町に開館!! 薬師義美 五九四</p> <p>被災お見舞いにお礼申し上げます 住吉仙也 五九九</p>	<p>北アルプスのこなきかた(山下喜一郎著) 角田啓蔵 五五二</p> <p>ヒマラヤを駆け抜けた男 山田昇の青春譜 巖松久美男 五五二</p> <p>(佐藤稔著) 中條昌子 五五二</p> <p>山歩き讃歌 人と自然に魅せられて(小倉童子著) 関東周辺 山と地酒の旅(坂倉登喜子・小川清美共著) 小倉厚 五五二</p> <p>富士山はなぜそこにあるのか(貝塚英平著) 式正英 五五二</p> <p>飛驒の山々 ヤブ山編(酒井昭市著) 安藤忠夫 五五二</p> <p>山道具が語る日本登山史(布川欣一著) 大森久雄 五五三</p> <p>山岳ノート(藤本一美著) 横山厚夫 五五三</p> <p>東北スキー○○コース(奥田博・伊藤繁著) 河上録治 五五五</p> <p>山と自然と人間を愛して(筑木力著) 小倉厚 五五五</p> <p>密偵西に消える(西川一三著) 佐藤敏彦 五五五</p> <p>山と神と民族と信仰 丹沢・桂川・足柄(佐藤芝明著) 奥野幸道 五五五</p> <p>六十歳からの日本三百名山(田中三郎著) 小倉厚 五五五</p> <p>カメラ片手に地球を駆ける(風見武秀著) 羽田栄治 五五六</p> <p>片雲往来PART II(第二部)語らうの山(上村幹雄著) 小倉厚 五五六</p> <p>山が楽しくなる地形と地学(広島三朗著) 小倉厚 五五七</p> <p>すぐ役立つ「山の絵の描き方」スケッチから油絵まで(山里寿男著) 初心者への為の「淡彩・山の描き方」(牧潤一著) 齊藤幹雄 五五八</p> <p>Mountaineering and mountain Club Serial a Guide to English Language Titles(Ver-ginea Seiser and Robert Lockerby著) 南井英弘 五五九</p> <p>西堀榮三郎選集 全三巻・別巻(悠々社刊) 堂本暎子 五五九</p>	<p>神々の見た水河期の旅(小野有五・文、大森弘一郎・写真) 岩田修二 五五九</p> <p>いらすと 丹沢・山ものがたり(とよた・時著) 奥野幸道 五六一</p> <p>南アルプス山歴史(山本明三郎著) 中村太郎 五六一</p> <p>PEAKS AND PASSES OF THE GARHWAL HIMALAYA (編者) JAN BAICZ) 南井英弘 五六一</p> <p>山の詩集(串田孫一・田中清光編) 宇都木慎一 五六二</p> <p>ひとり歩きの金剛山(藤田健次郎著) 三戸田一郎 五六二</p> <p>山岳俳句集 登攀者(菅原達也著) 小林碧郎 五六三</p> <p>朝日連峰の狩人(西澤信雄著) 三柄寿生 五六四</p> <p>私のスケッチ紀行・信濃路と甲斐路を行く(星野貞二著) 佐藤知恵子 五六四</p> <p>北八ヶ岳 黒百合ヒュッテ(米川正利著) 齊藤健治 五六四</p> <p>MOUNT MCKINLEY the Conquest of Denali(Bradford Washburn・David Roberts 共著) 永田秀樹 五六四</p> <p>飛驒の山山 国境編(酒井昭市著) 安藤忠夫 五六六</p> <p>THE KARAKORUM Mountains of Pakistan (白旗史朗著) 羽田栄治 五六七</p> <p>Trekking in Nepal (Sixth Edition) Shiban Bezrucha) Trekking in Tibet (Gary McCue) Trekking in Pakistan (Hugh Swift) 南井英弘 五六八</p> <p>空にただよう峰(松永敏郎著) 柳沢昭夫 五六八</p> <p>還らざる者たち(原真著) 田口二郎 五六九</p> <p>早池峰山の四季(高橋亭夫著) 江花俊和 五七〇</p> <p>大自然に生きる人びと 写真で見る民族学入門(藤木高嶺著) 田中外治 五七〇</p> <p>鳥川の源流(みやま文庫刊) 岡田敏夫 五七〇</p> <p>立山連峰資料を読んでのおすすめ 石塚久忠 五七〇</p> <p>レクイエム紀行 宏よナムチャバルワ峰に輝</p>	<p>く星になったのか(大西俊章著) 小倉厚 五七二</p> <p>日本女性登山史(坂倉登喜子・梅野淑子著) 河野幾雄 五七一</p> <p>百歳までの山登り(富田弘平著) 坂倉登喜子 五七二</p> <p>七大陸最高峰に立って(田部井淳子著) 小倉厚 五七二</p> <p>句集 薄雪草(渡辺立男著) 小林碧郎 五七二</p> <p>犬ぞり隊、南極大陸横断す(船津圭三著) 宇都木慎一 五七三</p> <p>森を考えるー白神ブナ原生林からの報告ー(根深誠編著) 近藤 緑 五七三</p> <p>甲斐の山山(小林経雄著) 山村正光 五七三</p> <p>山里寿男「スケッチの山旅12ヶ月」(山里寿男著) 宮下啓三 五七三</p> <p>至高(谷口現吉遺稿集) 松田雄一 五七四</p> <p>八方破れひとり旅(天城万三著) 小倉厚 五七四</p> <p>鈴鹿 私達の山(グリンデルワルト著) 中世古隆司 五七六</p> <p>GREAT HIMARAYA (白旗史朗著) 羽田栄治 五七六</p> <p>黒部奥山史談を読んで(湯口康雄著) 石坂久忠 五七七</p> <p>MY VERTICAL WORLD Climbing the 8000meter peaks (FRIZI KUKUCZKA 著) 南井英弘 五七八</p> <p>地図とみる安曇村の昔と今(安曇村誌編集室編) 岩田修二 五七九</p> <p>アルプス・ヒマラヤからの発想(藤田和夫著) 岩田修二 五七九</p> <p>北の山と本ーその登山史的考察ー(高澤光雄編) 岩瀬皓祐 五七九</p> <p>北アルプス・スケッチ山歩(平沢利夫著) 岡沢祐吉 五八〇</p> <p>唄え安曇節(中島昭編著) 細井澄子 五八〇</p> <p>日本スキー事始め(長岡忠一著) 山本健一郎 五八〇</p> <p>山頂にて(平野武利著) 勝田房治 五八〇</p> <p>山をよむ(齊藤一男著) 松田雄一 五八一</p> <p>初見 雄追悼集(初見 雄追悼集編集実行委</p>
--------------------------------	---	--	---	--

<p>員会発行)</p> <p>山の高き(鈴木弘道著) 南井英弘 五八一</p> <p>屋久島の山岳(太田五雄著) 山口祐一 五八一</p> <p>FLOWERS OF THE HIMALAYAN(2) (OLEG POLONIN・ADAM STANTON著) 南井英弘 五八二</p> <p>神の山―山岳宗教の源流を行く―(久保田展弘著・新妻喜永写真) 伊佐九三四郎 五八三</p> <p>山の自然学入門(小泉武栄・清水長正編) 児玉 茂 五八三</p> <p>句集・縦走路(沢聰著) 勝田房治 五八三</p> <p>アルパイン・ディクシヨナリー(ルドルフ・ヴァイス編) 田村俊介 五八三</p> <p>古代山岳信仰遺跡の研究(大和久震平著) 伊佐九三四郎 五八四</p> <p>霧の中に(荒賀憲雄詩集) 岡沢祐吉 五八四</p> <p>宮城の名山(柴崎徹著) 大橋克也 五八四</p> <p>レッツ・スケッチ山の絵教室(牧潤一著) 三柄寿生 五八五</p> <p>回想の山道(不破哲三著) 茂見 猛 五八五</p> <p>山を想えば人恋し(石原さくよ著) 渡辺玉枝 五八五</p> <p>韓国の岩場(石田稔郎著) 松永敏郎 五八五</p> <p>日本の山はなぜ美しい(小泉武栄著) 岩田修一 五八五</p> <p>四季折々の山(岡田日郎著) 小林碧郎 五八六</p> <p>霧の森(増永迪男著) 小倉 厚 五八六</p> <p>森に学ぶ(四手井綱英著) 伊藤 敏 五八六</p> <p>W・ウエストンの信濃路探訪(田畑真一著) 開発秀三 五八六</p> <p>アメリカの環境保護運動(岡島成行著) 近藤 緑 五八六</p> <p>A GUIDE BIRDS OF NEPAL (CAROL AND INSKIP 著) CONTACT HANDBOOK OF THE BIRDS OF INDIA AND PAKISTAN (SALIM ALI AND S. DILLONRIPLY 著) 南井英弘 五八六</p> <p>日本三百名山ガイド 東日本編(市川静子・岡田敏夫・岡部紀正・川越はじめ・廣澤和嘉共著) 小倉 厚 五八七</p> <p>山(こ)は辞典(岩科小一郎著・藤本一美編) 大森久雄 五八七</p> <p>琵琶湖周辺の山(長宗清可著) 林辰夫 五八七</p>	<p>中央本線各駅登山(山村正光著) 大橋 晋 五八七</p> <p>遠く高く(大西宏道稿集) 高見和成 五八八</p> <p>秘境の山旅(大内尚樹編) 山田哲郎 五八八</p> <p>自然流スキー考(渡辺兵力著) 山崎浩子 五八八</p> <p>日本三百名山ガイド・西日本編(市川静子・岡田敏夫・岡部紀正・川越はじめ・廣澤和嘉共著) 小倉 厚 五八八</p> <p>八十歳はまだ現役(脇坂順一著) 金子康一 五八九</p> <p>ヒマラヤ山河誌(諏訪多栄蔵著・雁部貞夫・薬師義美編) 茂見 猛 五八九</p> <p>HIRE OF HIMAL (Ramesh Rai Kumar 著) 南井英弘 五八九</p> <p>二〇万分の一地勢図基準自然地名集(国土地理院編) 武田満子 五九一</p> <p>内野常次郎小伝・上高地の常さん(牛丸工著) 大橋 晋 五九一</p> <p>丹沢ブナは訴える(神奈川新聞社編集局編著) 飯田 進 五九一</p> <p>傷だらけの百名山(加藤久晴著) 関塚貞亨 五九一</p> <p>BEYOND RISK (Nicholas Q. Connell 著) 南井英弘 五九一</p> <p>Mountaineering in PATAGONIA (Alan Kearney 著) 越田和男 五九一</p> <p>西蔵漂泊 上・下(江本嘉伸著) 泉 久恵 五九二</p> <p>フランス(フランク)・キングドン・ウォード(金子民男著) 岩田修一 五九二</p> <p>HITLER'S MOUNTAIN TROOPS (James Lusas 著) GREEN COGNAC (William Lowell Putnam 著) 平井吉夫 五九二</p> <p>森を染む(上野英世著) 伊藤 敏 五九二</p> <p>Hands of a Climber a life of Colin Vireux (Steve Dean 著) 南井英弘 五九三</p> <p>カナデアンロック・ハイキング案内(益田幸郎・益田晴子著) 渡辺玉枝 五九三</p> <p>BEYOND THE LIMITS WOMAN'S TRIUMPH ON EYE BEST (Stacy Allison 著) 南井英弘 五九三</p> <p>空撮ヒマラヤ(大森弘一郎写真集) 五九三</p>	<p>Mountain men of Milford (Jack Ede 著) 茂見 猛 五九四</p> <p>遙かなるチベット―河口懸海のたどった足跡を追って(根深誠著) 飯田 進 五九四</p> <p>いまだ下山せず―ドキュメント 山岳遭難捜索(泉康子著) 平井吉夫 五九四</p> <p>南極大陸 上巻―超絶の天然―山口俊輔 五九五</p> <p>THE HIGH MOUNTAINS OF THE ALPS VOL. 1 The Four-Thousand-metre Peaks (Hilmut Dünler and Willi P. Burkhardt 著) 南井英弘 五九五</p> <p>Environmental Protection of the Himaayan - A Mountaineers View (Indus Publishing Company, New Delhi, 1994) 澤井政信 五九五</p> <p>休息の山(沢野ひとし著) 三好まき子 五九六</p> <p>Trekking in RUSSIA & CENTRAL ASIA 田村俊介 五九六</p> <p>新版・ヒマラヤ文献目録(薬師義美編) 田村俊介 五九七</p> <p>韓国の自然と山(石田稔郎著) 茂見 猛 五九七</p> <p>屋久島 森・水・山(写真集)(日下田紀三著) 川合 周 五九八</p> <p>レクイエム 小林基子さん(山ぼうしの会編) 山村正光 五九八</p> <p>WALT UNSWORTH HOLD THE HEIGHTS (The foundations of Mountaineering The Mountaineers Seattle 刊 1994) 南井英弘 五九八</p> <p>周辺の登山学・山のエッセイ(小倉厚著) 細井澄子 五九八</p> <p>那天正登山講座(那天正著) 南川金一 五九九</p> <p>山景画集(橋本廣著) 山口祐一 五九九</p> <p>句集 山嶺旅情(栗林一路著) 小川益男 五九九</p> <p>北海道を滑る(熊谷權著) 佐藤十恵子 五九九</p> <p>BLIND CORNERS Adventures on Seven Continents (シェフリー・タビシ著) 越田和男 五九九</p> <p>カフカス三題 田村俊介 五九九</p>	<p>Führen auf der Spur*の反響 松田雄一 五五六</p> <p>死のクレバス アンデス水壁の遭難(J・シンプソン著) 三沢一三 五五八</p> <p>南極大陸横断―国際チーム二一九日間の記録―(ジャン＝ルイ・エチエンヌ著・高橋啓訳) 宇都木慎一 五五九</p> <p>日本山岳紀行―ドイツ人が見た明治末の信州―(W・シュタイニッツァー著・安藤勉訳) 岡沢祐吉 五六三</p> <p>図説エスキモーの民族誌(アーネスト・S・バーチJr著、スチュアート・ヘンリク) 宇都木慎一 五六四</p> <p>チベットの報告(―デンデリ著、薬師義美訳) 雁部貞夫 五六五</p> <p>REINHOLD MESSNER FREE SPIRIT (a climber's life Translated Till Neate) 南井英弘 五六七</p> <p>『日本旅行日記1』(アーネスト・サトウ 庄田元男訳) 大森久雄 五七〇</p> <p>ヒマラヤ冒険物語(クリス・ボンントン著、田口二郎訳) 中島 寛 五七〇</p> <p>世界最悪の旅―悲運のスコット南極探検隊(A・チェリール・ガラード著) 宇都木慎一 五八四</p> <p>はじめてのシエラの夏(ジョン・ミューア著・岡島成行訳) 越田和男 五八五</p> <p>エベレスト―一九五一年の偵察遠征(E・シプトン著、田中純夫訳) 松田雄一 五八六</p> <p>北極点(ビアリー著・中田修訳) 宇都木慎一 五九一</p> <p>北極を歩く(ロバート・スワン著、三方洋子訳) 平井吉夫 五九六</p> <p>エベレスト・付論(G・L・マローリ著、田中純夫訳) 五九九</p> <p>日本アルプス登攀日記(W・ウエストン著 三井嘉雄訳) 六〇〇</p>
--	---	--	--

<p>戸山岳会編) 片山英一 五五一 ヒマラヤ学誌第一号(京都大学ヒマラヤ研究 会編) 大森薫雄 五五一 登山ガイド・大分百山(日本山岳会九州支 部編) 松田雄一 五五三 三水会十五年の歩み(幼日本山岳会三水会創 立十五周年記念誌編集委員会編) 高田眞哉 五五三 女子登攀クラブの二十年 一九六九〜一九九 〇(福島由利子編) 泉 久恵 五五三 尾瀬 その風の中に(毎日新聞社前橋支局編) 鎌谷 緑 五五三 京都山岳(創立七〇周年記念号) 京都山岳 会実行委員会編) 阿部恒夫 五五三 崑崙の秘峰 新青峰(京都山岳会新青峰登山 隊編) 阿部恒夫 五五三 創立六十周年記念誌(横浜山岳会編) 南井英弘 五五五 南極大陸横断国際探検隊(一九〇九年南極大 陸横断国際探検隊日本事務局刊) 宇都木慎一 五五六 日本の山岳標高一覧一〇〇三山(国土地 理院刊) 児玉 茂 五五七 ブータン王国自然調査団報告(富山県自然保 護協会、日本山岳会富山支部) 田中外治 五五八 中国登山の手引(日本ヒマラヤ協会刊) 徳島和男 五五八 名古屋からの山なみ一東山スカイタワー基 礎(日本山岳会東海支部編) 柏木宏信 五五八 稜線 六十年史(下関山岳会編) 吉村健児 五五九 「東海支部報」No.1〜No.45復刻合本(日本山 岳会東海支部刊) 山本良三 五六〇 ASCENT the Mountaineering Experience in word and image edited by Allen Steck and Steve Roper) 岡沢祐吉 五六〇 ヒマラヤへの挑戦1〜3 八〇〇〇m峰登頂 記録(日本ヒマラヤ協会監修) 高橋善教 五六一 静岡の百山(静岡百山研究会編)</p>	<p>千葉大の山 40年(千葉大学山岳部、千葉大 学学士山岳会) 松田雄一 五六四 南の海からきた丹沢・ブレイトテクトニクス の不思議(神奈川県立博物館編) 児玉 茂 五六四 北アルプス 上(信濃毎日新聞社編集局編) 岡沢祐吉 五六九 ライチョウ 生活と飼育への挑戦(大町山岳 博物館編) 松沢節夫 五七〇 「ヒンズークシユの名峰 TRICH MIR(7708m) 日本・パキスタン合同テイリツチ・ミール登 山隊の記録(日本山岳会京都支部刊) 杉山イタル 五七二 カラヒ・ヌナ合宿報告書(アンタークティ ックウォーク南極点探検隊著) 宇都木慎一 五七四 雪上散歩 No.2(日本山岳会 アルパイン・ スキークラブ編) 大森久雄 五七七 レッドデーターブック・日本絶滅危惧植物 (日本植物分類学会編著) 大沢雅彦 五八一 静岡市の三角点一〇〇(静岡市山岳連盟編) 中村太郎 五八二 広島県スポーツ登山・半世紀の歩み 広島県 山岳連盟五十周年記念誌(広島県山岳連盟刊) 飯田 進 五八四 World Directory of Environmental Organ- izations (T.C. Trznava 著) 澤井政信 五八五 京都ふるさと50選(京都山友会編) 若林忠男 五八七 東海山岳 六号(日本山岳会東海支部編) 高澤光雄 五八七 越後山岳 第九号(日本山岳会越後支部編) 山田哲郎 五八八 The ALPINE JOURNAL 1993 (Edited by Johanna Merz) 宮下啓三 五八八 Berg 94 Alpenvereinsjahrbuch 平井吉夫 五八八 スペンティーク全員登頂(神奈川県ヒマラヤ 登山隊一九九二編) 伊藤博夫 五八九 一九九二年桑頂抗沙峰登山隊報告</p>	<p>中村太郎 五六二 松田雄一 五六四 児玉 茂 五六四 岡沢祐吉 五六九 松沢節夫 五七〇 杉山イタル 五七二 宇都木慎一 五七四 大森久雄 五七七 大沢雅彦 五八一 中村太郎 五八二 飯田 進 五八四 若林忠男 五八七 高澤光雄 五八七 山田哲郎 五八八 宮下啓三 五八八 平井吉夫 五八八 伊藤博夫 五八九</p>	<p>「飯豊」会報第五号(下越山岳会編) 越田和男 五八九 大橋 晋 五八九 スイス・ベルン大学山岳会九三年度年報によ せて 岡沢祐吉 五九一 ENCYCLOPEDIA OF MOUNTAINEERING by Walt Unsworth (1992) 宮下啓三 五九一 芦安村誌(芦安村編) 茂見 猛 五九二 中国登山指南(史占春主編、成都地図出版社 ・中国登山協会共同編集) 南川金一 五九二 コーポルト・コクセル峰初登頂特集(山形 大学・コーポルト会シルクロード学術登山隊 編) 小倉童子 五九三 七時雨(ななしぐれ)の風(七時雨の自然と 語りう会編) 山口俊輔 五九三 チベット高原の盟主ニエンチェンタラ(東 北大学の会編) 大橋 晋 五九四 白き咆哮(立教大学チョモロンゴ登山隊 学 術調査隊一九九三報告書) 松田雄一 五九五 山城三十山(日本山岳会京都支部編著) 荒賀憲雄 五九六 雑誌 URBAN KUBOTA (アーバン クボタ) (株式会社クボタ発行) 山口祐一 五九七 地図二点(日本地図センター編) 越田和男 五九九 創立三十五周年特集号(広島山稜会編) 上中俊治 六〇〇</p>
<p>静岡の百山(静岡百山研究会編) 高橋善教 五六一</p>	<p>千葉大の山 40年(千葉大学山岳部、千葉大 学学士山岳会) 松田雄一 五六四 南の海からきた丹沢・ブレイトテクトニクス の不思議(神奈川県立博物館編) 児玉 茂 五六四 北アルプス 上(信濃毎日新聞社編集局編) 岡沢祐吉 五六九 ライチョウ 生活と飼育への挑戦(大町山岳 博物館編) 松沢節夫 五七〇 「ヒンズークシユの名峰 TRICH MIR(7708m) 日本・パキスタン合同テイリツチ・ミール登 山隊の記録(日本山岳会京都支部刊) 杉山イタル 五七二 カラヒ・ヌナ合宿報告書(アンタークティ ックウォーク南極点探検隊著) 宇都木慎一 五七四 雪上散歩 No.2(日本山岳会 アルパイン・ スキークラブ編) 大森久雄 五七七 レッドデーターブック・日本絶滅危惧植物 (日本植物分類学会編著) 大沢雅彦 五八一 静岡市の三角点一〇〇(静岡市山岳連盟編) 中村太郎 五八二 広島県スポーツ登山・半世紀の歩み 広島県 山岳連盟五十周年記念誌(広島県山岳連盟刊) 飯田 進 五八四 World Directory of Environmental Organ- izations (T.C. Trznava 著) 澤井政信 五八五 京都ふるさと50選(京都山友会編) 若林忠男 五八七 東海山岳 六号(日本山岳会東海支部編) 高澤光雄 五八七 越後山岳 第九号(日本山岳会越後支部編) 山田哲郎 五八八 The ALPINE JOURNAL 1993 (Edited by Johanna Merz) 宮下啓三 五八八 Berg 94 Alpenvereinsjahrbuch 平井吉夫 五八八 スペンティーク全員登頂(神奈川県ヒマラヤ 登山隊一九九二編) 伊藤博夫 五八九 一九九二年桑頂抗沙峰登山隊報告</p>	<p>中村太郎 五六二 松田雄一 五六四 児玉 茂 五六四 岡沢祐吉 五六九 松沢節夫 五七〇 杉山イタル 五七二 宇都木慎一 五七四 大森久雄 五七七 大沢雅彦 五八一 中村太郎 五八二 飯田 進 五八四 若林忠男 五八七 高澤光雄 五八七 山田哲郎 五八八 宮下啓三 五八八 平井吉夫 五八八 伊藤博夫 五八九</p>	<p>「飯豊」会報第五号(下越山岳会編) 越田和男 五八九 大橋 晋 五八九 スイス・ベルン大学山岳会九三年度年報によ せて 岡沢祐吉 五九一 ENCYCLOPEDIA OF MOUNTAINEERING by Walt Unsworth (1992) 宮下啓三 五九一 芦安村誌(芦安村編) 茂見 猛 五九二 中国登山指南(史占春主編、成都地図出版社 ・中国登山協会共同編集) 南川金一 五九二 コーポルト・コクセル峰初登頂特集(山形 大学・コーポルト会シルクロード学術登山隊 編) 小倉童子 五九三 七時雨(ななしぐれ)の風(七時雨の自然と 語りう会編) 山口俊輔 五九三 チベット高原の盟主ニエンチェンタラ(東 北大学の会編) 大橋 晋 五九四 白き咆哮(立教大学チョモロンゴ登山隊 学 術調査隊一九九三報告書) 松田雄一 五九五 山城三十山(日本山岳会京都支部編著) 荒賀憲雄 五九六 雑誌 URBAN KUBOTA (アーバン クボタ) (株式会社クボタ発行) 山口祐一 五九七 地図二点(日本地図センター編) 越田和男 五九九 創立三十五周年特集号(広島山稜会編) 上中俊治 六〇〇</p>
<p>◆会員総会 平成三年度通常総会 細則ならびに支部規定 を改訂 新副会長に松田雄一氏 小倉厚 五五四 平成二年度収支決算書 五五四 平成二年度未納納除籍予定者 五五四 平成二年度正味財産増減計算書 五五四</p>	<p>会務報告 越田和男 五八九 大橋 晋 五八九 岡沢祐吉 五九一 宮下啓三 五九一 茂見 猛 五九二 南川金一 五九二 小倉童子 五九三 山口俊輔 五九三 大橋 晋 五九四 松田雄一 五九五 荒賀憲雄 五九六 山口祐一 五九七 越田和男 五九九 上中俊治 六〇〇</p>	<p>越田和男 五八九 大橋 晋 五八九 岡沢祐吉 五九一 宮下啓三 五九一 茂見 猛 五九二 南川金一 五九二 小倉童子 五九三 山口俊輔 五九三 大橋 晋 五九四 松田雄一 五九五 荒賀憲雄 五九六 山口祐一 五九七 越田和男 五九九 上中俊治 六〇〇</p>	<p>平成二年度貸借対照表 五五四 平成二年度財産目録 五五四 平成三年度収支予算書(案) 五五四 日本山岳会 平成二年度事業報告 五五四 日本山岳会 平成三年度事業計画(案) 五五四 平成四年通常総会 山研改策になお一層の 協力を 小倉 厚 五五六 日本山岳会平成三年度事業報告 五五六 平成三年度収支計算書 五五六 平成三年度正味財産増減計算書 五五六 平成三年度貸借対照表 五五六 平成三年度財産目録 五五六 日本山岳会 平成四年事業計画(案) 五五六 平成四年収支予算書(案) 五五六 平成三年度通常総会 藤平会長・鳴原・中村 副会長を選出 高田眞哉 五七八 会長就任に当たって あえて艱難に挑み前進 を 藤平正夫 五七八 日本山岳会平成四年度事業報告 五七八 平成四年収支計算書 五七八 平成四年度正味財産増減計算書 五七八 平成四年度貸借対照表 五七八 平成四年度財産目録 五七八 日本山岳会平成五年度事業計画(案) 五七八 平成五年収支予算書(案) 五七八 平成六年通常総会 九十周年記念事業とし て「マカル」登山隊一九九五「遠征なども 日本山岳会 平成五年事業報告 五九〇 平成五年収支計算書 五九〇 平成五年正味財産増減計算書 五九〇 平成五年貸借対照表 五九〇 平成五年度財産目録 五九〇 日本山岳会 平成六年事業計画案 五九〇 平成六年収支予算書(案) 五九〇 ◆年次晩餐会 【予告】年次晩餐会 五九七 平成三年度年次晩餐会 ナムチャバルワ登山</p>

隊再派遣も報告 高田眞哉 五六〇
新永年会員紹介 五六〇
永年会員になった感想・近況 五六〇
平成四年度年次晩餐会のお知らせ 五七〇
平成四年度年次晩餐会 ナムチャバルワ、山研
改築 二大イベント達成も併せ祝う
高田眞哉 五七二

新名譽会員紹介 五七二
名譽会員となった感想 (Y・M) 五七二
新永年会員紹介 五七二
永年会員になった感想 五七二
(お知らせ) 平成五年度年次晩餐会 五八一
平成五年度年次晩餐会 三笠宮寛仁殿下が初
のご出席(新名譽会員・新永年会員紹介)
高田眞哉 五八四

平成六年度年次晩餐会のお知らせ 五九三
平成六年度年次晩餐会 皇太子殿下ご成婚後
初のご出席 高田眞哉 五九六
新名譽会員紹介 中沢眞一、蔡禮樂、孫慶錫 五九六

理事会・評議員会 五五一
〇〇五八〇、五八二、五九二 委員会報告五九
三、五九四、六〇〇

◆総務・資料委員会 五五一
一九八九年度資料受入報告 五五一
資料委員会より 五五三
さくらハイイク 中川 尚 五五三
第二十七回観光週間 五五四
一九九〇年度資料受入報告(1) 五五六
一九九〇年度資料受入報告(2) 五五七
シンポジウム報告「中高年登山者の立場」 五六〇

中高年登山対策全国大会 どうしたら解決で
きるか?を深く掘り下げ討議 高田眞哉五六三
新入会員オリエンテーションの開催 五六四
オリエンテーションに参加して
蜂谷益雄 五六四
第二十八回観光週間 五六六
高柄山さくらハイイク 沢井増夫 五六六

九・一二サタデープラン 親子ハイキングへ
のお誘い (総務・林) 五六七
資料寄付方のお願ひ 五六七
会員名簿作成についてのお願ひ 五六八
会員名簿についてのお願ひ 五六八
一九九二・九・一二サタデープラン「親子ハ
イキング」の報告 総務・林 五七〇
資料委員会からのお知らせ 五七二
ポロシャツ予約の受付のお知らせ 五七二
報告 第二回中高年対策全国大会(上) 五七二

報告 第二回中高年対策全国大会(下) 五七五
OA委員会からの報告 文責・松田 五七六
報告 第二回中高年登山対策全国大会(下) 五七六
高田眞哉 五七六
第十九回新入会員 オリエンテーションの開
催 中村 昭 五七六
オリエンテーションに参加して
足立英二 五七六
ナンタコート登頂時のカメラ 資料委員会 五七七

田辺主計氏宛書簡類を本会に寄贈 五七八
第二十九回観光週間 五七八
さくらハイイク 天覧山・多峰主山 五七八
村山裕嗣 五七九
お知らせ 講演と映画の会(資料委) 五八一
新入会員の集いなごやかに開催 小倉董子 五八三
中川喜久雄会員講演と映画の会 戦前の北ア
ルプス(資料委) 開発秀三 五八四
全国事務局担当者会議 九十周年行事などを
検討 小倉 厚 五八七
第二十回新入会員の集い 中村 昭 五八八
新入会員からのメッセージ 安藤幹・岩崎真
知・常陸民生・粟野光夫 五八八
さくらハイイク ジャック93会のこと 三井吉由江 五八九
第30回観光週間 五九〇
大勢の協力で素敵に変身 ルームのリフォー
ム 中川 武 五九三
リフォームの経費について 小倉茂暉 五九三
記念事業 募金目標額などを審議 マカール 五九三

峰九十周年合同募金委員会 五九三
ルームに情報コーナーを設置 五九四
平成六年度上半期 新入会員の集い 五九五
日本山岳会創立九十周年「ブロック別式典」
日程 五九九
第二十一回新入会員オリエンテーション開催
吉川隆士 六〇〇

◆図書・フィルム委員会 六〇〇
第十九回山岳史懇談会 南井英弘 五五一
山岳劇映画鑑賞会のお知らせ 五五二
『山岳』総合索引・一九〇五〜一九九〇年刊
行のお知らせ 大森久雄 五五三
図書室だより(1) 五五三
「秋を撮ろう」撮影会のお知らせ 五五六
図書室だより(2) 五五七
寄贈、交換、購入中の雑誌、定期刊行物一覧 五五七

図書貸し出し規定 五五七
「山岳総合索引」の刊行 五五七
日本山岳会所蔵山岳地図目録 五五八
図書室だより(3) 五五八
日本山岳会所蔵山岳地図目録 五五九
雨の西沢溪谷カメラで親睦を深める 羽田栄治 五五九
図書委員会の催し(1)第二十回山岳史懇談会(2)
第二十三回山岳図書を語る夕べ(3)第二十九回
この一本展(お知らせ) 五五九
西沢溪谷撮影会行 川口和男 五六〇
図書室だより(5) 五六〇
日本山岳会所蔵山岳地図目録3北アメリカ・
中央アメリカ 五六〇
ビデオ鑑賞会(お知らせ) 五六〇
図書室だより(6) 五六一
日本山岳会所蔵山岳地図4アジア・太平洋・
アフリカ 五六一
図書委員会の催し(1)第二十三回山岳図書を語
る夕べ(2)第二十九回この一本展(お知らせ) 五六一

図書室だより(7) 五六二
日本山岳会所蔵山岳地図目録5ヒマラヤ(1) 五六二
JACフォト・ビデオクラブが発足! 五六三
図書室だより(8) 五六三
日本山岳会所蔵山岳地図目録5ヒマラヤ(2) 五六三
図書室だより(9) 五六四
日本山岳会所蔵山岳地図目録5ヒマラヤ(3) 五六四
第二十二回山岳史懇談会 関西学院大学山岳部
七十年の歩み 南井英弘 五六四
図書室だより(10) 五六五
日本山岳会所蔵山岳地図目録5ヒマラヤ(4) 五六五

「山岳図書を語る夕べ」の歩み 五六五
初夏を撮ろう(お知らせ) 五六五
第二十三回山岳図書交換会(お知らせ) 五六七
南極関係図書の受贈 五六七
「フィルム・ビデオ映写会」のお知らせ五六八
「高みへのステップ(全三巻)ビデオライ
ブ」のお知らせ 五六八
第二十三回山岳図書交換会(お知らせ) 五六八
「山の道具の変遷」講演会のお知らせ 五六八
お知らせ「秋を撮ろう」 五六八
お知らせ 名作山岳映画会の夕べ 五六九
「谷川岳山麓撮影会」に参加して 戸谷 忍 五七二

紅葉の南アルプス・夜叉神峠、広河原撮影会
に参加して 佐藤登代子・松丸秀夫 五七一
お知らせ 図書委員会の催し 第二十一回山
岳史懇談会 第二十四回山岳図書を語る夕べ 五七二
16mm映画会のお知らせ 五七二
「山岳総合索引」の刊行 大森久雄 五七五
第二十四回山岳図書を語る夕べ 山岳総合
索引について 飯田 進 五七六
お知らせ 宝剣岳周辺で撮影会 五七九
第二十一回山岳史懇談会 「北大山岳部の登
山」戦前の回想を主として 越田和男 五八〇



イラスト 宇都木 慎一

◆指導・学生部関係

講演会のお知らせ「防げないか冬山孤立遭難」
 「防げるか、冬山孤立遭難」に出席して 五五七
 冬山で遭難しない為の講演会お知らせ(遭難
 対策委員会) 五六九
 第29回学生部マラソン大会報告 田中清隆 五七二
 平成五年度山スキーのお知らせ 五七二
 冬山シーズン あなたのプラスチックブーツ
 大丈夫? 遭対委 片岡泰彦 五八三
 報告・第三十回皇后一周マラソン大会 OB
 ・OGも参加して盛会 椎名厚史 五八四
 山スキー講習会のお知らせ 片岡泰彦 五九六
 報告・好天に恵まれた第三十一回マラソン大
 会 後藤琢史 五九六

◆海外連絡委員会

国際化交流事業 五五四
 崑崙山脈国際キャンプ登山隊派遣説明会の案
 内 五八三
 国際山岳連盟(UIAA) 松本集會 五七一
 UIAA 松本アッピール 鈴木邦之 五七一

◆科学研究委員会

お知らせ エベレスト山麓で医療活動を五八二
 「台湾交流登山団」参加者募集!! 五八四
 山岳地域における自然エネルギー利用に関す
 るシンポジウム 森 武昭 五五二
 「雷」シンポジウムの開催(お知らせ) 五五二
 湿原と高山植物探索山行のお知らせ 五五三
 田代山探索山行(報告) 千葉重美・中村あや 五五七
 飯豊の高山植物講演会のお知らせ 五五七
 マッキンリーの烈風 大蔵喜福 五五八
 マッキンリー気象観測報告会のお知らせ五五九
 「飯豊の高山植物」講演会 中村あや 五六一
 マッキンリー気象観測報告会(上) 五六三
 講演会 山雲の機構と分類のお知らせ 五六三
 マッキンリー気象観測報告会(下) 五六四
 講演会 山の気象のお知らせ 五六五
 秩父宮記念学術賞 受賞記念講演会開催さる 五六六
 探索山行のお知らせ 五六七
 雪崩シンポジウム(お知らせ) 五六九
 科学研究委員会探索山行報告(石田要久五七二
 マッキンリー気象観測プロジェクトへの協
 力のお知らせ) 大森弘一郎 五七六
 報告・科学委員会プロジェクト マッキンリー
 1 気象観測隊に参加して(青年部絹川) 五七九
 報告・雪崩シンポジウム 若年層の参加者も
 真剣 (お知らせ) 中村純二 五八〇
 (お知らせ) ナムチャバルワとマッキンリー
 の気象報告会 五八〇
 「マッキンリー気象観測プロジェクト」山
 岳自然保護活動「基金のためヒマラヤ大型給
 葉書を頒布(自然保護専門委員会共催) 五八〇
 (お知らせ) 第二回雪崩シンポジウム 五八二
 気象観測報告会 ナムチャバルワとマッキ
 ンリー 奥山 巖 五八三
 報告・第二回雪崩シンポジウム 正しい知識
 と現地学習を 森 武昭 五八六

現地講習会「自然エネルギー利用実用化の現
 状」お知らせ 五八七
 探索山行「氷河地形を科学する」お知らせ五九〇
 シンポジウム「登山と疲労」(お知らせ、医
 療委共催) 五九二
 報告・マッキンリー気象観測機器設置登山隊
 一九九五 中村 真 五九二
 報告・現地講習会「自然エネルギー利用実用
 化の現状」 森 武昭 五九二
 講演会「山の高さの測定」お知らせ 五九五
 報告・探索山行「氷河を科学する」 北野忠彦 五九五
 報告・データからみたマッキンリーの気象
 大蔵喜福 五九六
 「山岳地域における自然エネルギー利用の実
 用化研究」が第三十一回秩父宮記念学術賞に
 報告・講演会「山の高さの測定」 高田眞哉 五九六
 秩父宮記念学術賞を受賞して 武田満子 五九九
 スキー力学講演会のお知らせ 鳥居亮 森武昭 六〇〇
 六〇〇

◆高所登山・医療委員会

第11回日本登山医学シンポジウム(お知らせ) 五五三
 「海外登山基金」助成登山隊報告 明治大学
 チョモランマ峰遠征隊 平野真市 五五六
 平成三年度「海外登山基金」助成登山計画募
 集 五五六
 「第一回世界野生医学会議」出席して 中島道郎 五五九
 「海外登山基金」助成登山隊報告 日本山岳
 会京都支部 ティリッチミール登山隊 須藤健志 五五八
 平成四年度海外登山基金交付団体決まる! 五六一
 第十二回日本登山医学シンポジウムのお知らせ 五六一
 平成四年度「海外登山基金」助成登山計画募
 集 五六一

第八回国際低酸素シンポジウムのお知らせ 中島道郎 五七一
 中高年登山者のための講演会お知らせ 五七二
 平成五年度「海外登山基金」助成登山計画募
 集 五八〇
 海外登山基金委員会・報告 平成四年度助成
 の四隊 鳴原啓佑 五八三
 山と医療・病を癒す双神 堀井昌子 五八五
 平成五年度海外登山基金について 鳴原啓佑 五八六
 山と医療・楽しい山行に役立つ医学を 辰沼廣吉 五八六
 第十四回日本登山医学シンポジウム(お知ら
 せ) 五八七
 山と医療・一九九三年UIAA医療委員会公
 認基準について 中島道郎 五八八
 山と医療・一九九三年制定UIAA医療委員
 会公認基準について(2) 中島道郎 五八八
 山と医療・一九九三年制定UIAA医療委員
 会公認基準について(3) 第一編 トレッキ
 グ・エキスペディション 中島道郎 五九一
 平成六年度「海外登山基金」助成登山計画募
 集 五九二
 山と医療・一九九三年制定UIAA医療委員
 会公認基準について(4) 第二編・登攀時にお
 ける血液媒介伝染病の人から人への伝播 第
 1章 中島道郎 五九二
 山と医療・一九九三年制定UIAA医療委員
 会公認基準について(5) 第二編・登攀時にお
 ける血液媒介伝染病の人から人への伝播 第
 2章 中島道郎 五九三
 講演会「サガルマータ(エベレスト) 南西壁
 冬期初登攀」のお知らせ 五九三
 山と医療・一九九三年制定UIAA医療委員
 会公認基準について(6) 健全登山10則 中島道郎 五九四
 山と医療・インフォームド・コンセント 長尾悌夫 五九五
 山と医療・高所登山にはビタミンEの服用を 堀井昌子 五九六
 大野秀樹 五九八

第十五回日本登山医学シンポジウム 五九八
報告・シンポジウム「登山と疲労」より 疲
勞のメカニズムを正しく理解するために(科
学委共催) 大森薫雄・森武昭 五九八
平成六年度海外登山基金について
海外登山委員会 五九九
報告・第九回国際低酸素症シンポジウムに参
加して 中島道郎 五九九

山と医療・一九九四年制定UIAA医療委員
会 公認基準(7) 中島道郎 五九九
山と医療・一九九四年制定UIAA医療委員
会公認基準(その5)より 中島道郎 六〇〇
ルーム日誌 五二二、五九二、五九四、六
〇〇

会員異動 五二二、五八五、五八七、五九
二、五九四、五九八、六〇〇

図書受入報告 五五四、五五六、五五八、
五六五、五六八、五七三、
五七五、五八三、五八五、五九〇

住所・住居表示変更(表) 五五一、五六〇

新入・復活会員(表) 五五一、五八七、
五九四、五九九

◆タンポチエ僧院関係

「タンポチエ僧院再建募金」お礼と報告 山田二郎 五五一
タンポチエ僧院再建協力募金者ノ芳名 五五一
タンポチエ僧院再建募金 ヒラリー・唧からの
礼状 五五七
タンポチエ僧院再建の近況 五五七
タンポチエ僧院再建の近況 五五七

◆共同募金関係

ナムチャバルワ登山隊、上高地山岳研究所再
建合同募金のお願ひ 山田二郎 五五四
山研・ナムチャ合同募金応募状況 五五六
五五七、五五八、五五九、五六〇、五六一、
ナムチャバルワ・山研テレフォンカード発売
五五六

ナムチャバルワ、上高地山岳研究所合同募金
に就いて 募金委員会 五五七
山研・ナムチャ合同募金応募状況
五二二、五七九、五八一、五八三
創立90周年記念事業募金応募状況
五九六、六〇〇

◆その他事務局関係

「山」合本・製本します 五五二
カラコルム新地図発行 五五二
エベレスト地図最新版 五五四
マップモニター募集 五五四
国土地理院助日本地図センターからの告知
せ 五六一、五六五
お知らせ(千葉市在住者) 五六五
マップモニターを募集 五六六

「88三国友好登山海外版(英語・中国語)報
告書(写真集)」頒布のお知らせ 五六八
スポーツ振興基金 平成五年度「国際的に卓
越したスポーツ活動」募集(予告)について
五七〇

ポロシャツ予約受付のお知らせ 五七二
事務局も夏季休暇!! 五七八
山岳会ルーム休館のお知らせ 五八二
会報「山」の編集について懇談会のお知らせ
五八五

山岳会グッズ新製品のご案内 五八六
平成六年度森林インストラクター資格試験の
お知らせ 小倉董子 五八六
ルーム改装のお知らせ 五八九

「山の高さ」(鈴木弘道・著/日本測量協会)
初版本の正誤表のお知らせ 五九〇
投稿原稿についてのお願い 会報編集委員会
五九三

「山」の広告募集 五九四
ワシタカの渡り情報提供のお願い 植松晃岳
五九四
年末年始休み(お知らせ) 五九五
会報「山」の編集懇談会のお知らせ 五九六
90周年記念事業募金のお願ひ 五九七

自然保護

HATJシンポジウム ヒマラヤの自然を
守る懇談会 関塚貞亨 五五一
鳥海山南麓のスキー場開発方法の変更を求め
る要望書を提出 松本恒廣 五五一

自然保護全国集会(お知らせ) 五五一、五五二
秩父自然観察山行 木名瀬巨 五五二
HATJ清掃登山へのお誘い 五五二

HATJ講演会 回想のヒマラヤと環境保
護(お知らせ) 五五三
自然観察山行(お知らせ) 五五四

自然保護全国大会 「日本山岳会の自然保護
の基本理念」をテーマに盛大に新潟県の新
発田市で 小倉 厚 五五五

村木前副会長「自然保護講演会」についての
紙上討論(第二回) 自然保護委員会 五五五
HATJ、山岳地域の環境保全に関する
国際シンポジウムいよいよ開催!

HATJ事務局 五五七
自然観察山行 尼ヶ禿山と玉原湿原 小倉 厚 五五七

HATJ国際シンポジウム(東京・富山)
世界の岳人一堂に 山岳環境保護を謳う!
北村節子 五六〇

東京アピール 田部井淳子 五六〇
HATJ米日ゲスト歓迎会 Y・M 五六〇
日だまり山行(お知らせ) 五六〇

自然環境保全のための観察山行 上越国境
「稲包山」 関塚貞亨 五六一
講演会のお知らせ 五六一

平成四年度自然保護全国集会(速報) 五六二
自然観察・日だまり山行 大野峠から旧正丸
峠へ 小倉 厚 五六三

平成四年度自然保護全国集会(お知らせ) 五六三
(お知らせ)三頭山と都民の森を歩くー環境
月間の行事としてー 五六四
HBTによるヒマラヤ・コード ヒマラヤで
正しく行動するために 五八六

鳥海山を守る闘い 池田昭二 五八七

自然保護全国集会 基本理念に、白熱の論議
松本恒廣 五六七
三頭山と都民の森を歩くー環境月間の行事と
して 木名瀬巨 五六八
「自然保護委員会の行動指針」について 澤井政信 五六九

「日本山岳会自然保護委員会の行動指針」
自然保護委員会 五六九
クリーン度の高いナムチャバルワ峰遠征隊
市川義輝 五六九

お知らせ・HATJ国際シンポジウム報告
書の頒布 五九九
講演会のご案内 五九九

自然保護委・ライオンズクラブを支援
小倉 厚 五七一
「登山者による自然破壊について考える」
横山隆 五七三

日だまり山行(お知らせ) 五七三
韓国山岳会との会談に関する報告(上) 五七三

森林インストラクター資格取得のおすすめ
小倉董子 五七四
すべての会員に考えてもらいたいこと(1)
羽賀克己 五七四

シンポジウム 山の自然保護を考える(告知
らせ) 五七四
背理を生きる自然保護 筑木 力 五七五

韓国山岳会との会談に関する報告(下) 大森弘一郎 五七五
すべての会員に考えてもらいたいこと(2)
羽賀克己 五七五

自然観察・日だまり山行 ザゼンソウ自生地
から旧正丸峠 山口悠紀子 五七六
第一回シンポジウム報告「山の自然保護を考
える」 小倉 厚 五七七

平成五年度自然保護全国集会(お知らせ) 五七八
四か国語の「北アルプス自然保護・安全登山
案内書」を作成 大森弘一郎 五八〇

自然保護運動に活躍する九州岳人
山田 格 五八〇
環境庁長官表彰を受けて 藤平正夫 五八〇

(お知らせ) 山の自然学現地講座
(お知らせ) 自然保護に関する図書紹介の集
い
(お知らせ) 山の破壊を見るー武甲山 五八〇
H A T J が主催する韓国・国際環境保存講
演会に参加して 大森弘一郎 五八一
「日本の地形・レッドデータブック」への資
料提供のお願い 五八一
「山の自然学現地講座」通年参加者募集五八一
平成五年度自然保護全国集会「日本山岳会
の自然保護はどうあるべきか」 小倉厚 五八二
岡島成行氏が図書紹介 自然保護の洋書を選
んで 松久秀夫 五八四
報告・自然観察山行 山の破壊を見るー武甲山
横山隆 五八四
「木の目草の芽」創刊のお知らせ
シンポジウムとコンサート 山の自然保護を
考えるII(丹水会共催) お知らせ 五八五
日本山岳会の自然保護 岡島成行 五八六
アルプスの自然を守れ 遠藤泰孝 五八七
自然保護随想にひと言 笠井篤 五八七
報告・山の自然学現地講座 現況と参加のお
すすめ 大森弘一郎 五八八
報告・第二回シンポジウム「山の自然保護を
考える」 國見利夫 五九〇
森林観察・森部会報告・東丹沢民の森 牧内 薫 五九〇
平成六年度自然保護全国集会お知らせ 五九〇
「自然保護随想」にも申す 石田稔郎五九一
報告・自然観察山行 堂平から丹沢へ
山口悠紀子 五九一
自然保護随想へ投稿を！
再び企業と環境保護 関塚貞亨 五九二
平成六年度自然保護全国集会 南アの麓で山
の自然保護を語る 小倉 厚 五九三
報告・上高地インタープリター 報告 初の
試みは好評!! 大森弘一郎 五九三
報告・上高地のインタープリターが作った解
説員指南帳 大森弘一郎 五九四
募集 「ゴラバニ石楠花保全のための調査」参加
五九七

◆自然保護随想

報告・早春ハイキング1数馬・山崎屋の会
木名瀬巨 六〇〇

自然保護の象徴・函南原生林を歩く
中井修二 五五一
尾瀬の自然は護られている
中村武雄 五五二
林業と自然保護
山と人と(蔵王から)
大橋克也 五五三
ゴミと日本人
横山隆 五五五
遊びの意識を変える
塚本圭一 五五八
山地活用と国土保全
上善峰男 五五九
女・子供の自然保護
山口悠紀子 五六一
豊かな自然と個性ある人間の共生を目指して
中谷絹子 五六二
自然保護と開発のはざま
佐藤一栄 五六三
フツウの市民のできること
市川義輝 五六四
穴田雪江 五六五
ゴミ拾い
渡辺 徹 五六七
酸性雨
山本経にみる山
篠崎 仁 五六八
保護と保全
田村説三 五七〇
避難小屋を清掃する
山口悠紀子 五七二
自然体験の試み
蜂谷 緑 五七三
保全と管理の必要性
片岡 博 五七四
猿焼き山のゴミ
山口悠紀子 五七五
みんなが渡れば怖くない
小倉 厚 五七六
遊びの中の祈り
池田 剛 五七七
山の清掃運動とゴミ
関塚貞亨 五七九
知識と行動は別?
関塚貞亨 五八〇
夢の上高地鉄道
関塚貞亨 五八一
田舎に住んでみて
小倉 厚 五八二
保全と安全の両立
関塚貞亨 五八三
冬期五輪と開発
関塚貞亨 五八四
環境に関する行動指針
小倉 厚 五八五
水河が魚を育てる
渡辺正臣 五八七
環境ビジネスへの期待
関塚貞亨 五八八
里も可愛いが森も大切
関塚貞亨 五八九
山と数山の自然保護
関塚貞亨 五九一
理想の登山道は
「夏三題」尾瀬、霧ヶ峰、
上高地
関塚貞亨 五九二

◆上高地山岳研究所

山研改築委員会報告「山研と自然エネルギー」
坂本正智 五六二
山研改築委員会報告「山研と資料」
山口俊輔 五六三
山岳研究所地鎮祭に出席して 藤平正夫五六五
山研改築委員会報告「山研の最終図面」五六五
新・山研だより(1) 山研委員会 五六七
新・山研だより(2) 溝口洋三 五六八
新・山研だより(3) 山研上棟式報告
(松田) 五六九
新・山研だより(4) 小倉茂暉・溝口洋三 五七〇
新・山研だより(5) 小倉茂暉・溝口洋三 五七一
新・山研だより(6) (石橋) 五七二
ゴールデンウィーク期間中の新山研利用につ
いて(お願い) 五七三
「山研落成記念」版画「上高地旧山岳研究所
風景」頒布のお知らせ!! 五七三
上高地山岳研究所の利用について 五七四
山岳研究所竣工式に列して 藤平正夫 五七七
新山研に山岳資料室オープン!!
中村純二 五七七
「さんげん」改築記念山行 晴天に恵まれ、
上高地で開催
伊藤敏 小倉董子 中村純二 五七九
山研改築収支報告 山研改築特別委員会五八四
山研をご利用ください 溝口洋三 五八六
山研のFAX番号訂正のお知らせ 五八八
上高地山岳研究所での新しい試み(自然保護
専門委共催) 五九〇
山研がオープンします 四月三十日 五九八

催し物

上高地山研新管理人決定 五九九
丹水会十周年に集う 細井登子 五五一
三水会現地集會 十二回を数えた竹寺集會
高田眞哉 五五二
三水会現地集會報告 房州・高岩山
塩澤 厚 五五三
三水会現地集會 御正体と石割山
佐藤之明 五五三
お知らせ 藤井幾太郎・山の画展・第三六回
五五三
永年会員、中沢真二氏をかこむ談話会
澤井 五五四
名誉会員を囲む会 (Y・M) 五五四
土曜会へのお誘い 神谷恭平 五五六
第15回「あんころ餅と薬湯の会」 五五八
俳句 三水会山研集會・焼岳解禁 小林碧郎 五五八
お知らせ 後藤三男油絵展 五五九
お知らせ 山と雪 竹節作太展 五五九
土曜会で山の思い出を語りあいましよう
坂倉登喜子 五六〇
三水会現地集會報告 御陵山行 遠田 栄 五六〇
三水会秋の懇親山行 金時山から足柄峠へ
小林 碧 五六一
「白き氷河の果てに」77日本K2登山隊の
記録映画を再上映と講演の夕べ 神所知ヒマ
ラヤ登山隊「カラコルム写真展」のお知らせ
中 保 五六二
三水会新年山行 日金山から十国峠 岡野 修 五六二
お知らせ 中垣淑子・山のスケッチ展 五六二
三水会日だまり山行 奥武蔵・ユガテ 五六三
お知らせ 植松直巳とエレスト展 五六三
三水会 奥武蔵集會にて 勝田房治 五六四
三水会現地集會 房州高岩山 酒匂輝昌五六四

<p>お知らせ 藤江幾太郎・山の画展・第37回 ネパール油絵展 五六四 お知らせ 白神フォーラム・92 五六五 三水区四月現地集會 西丹沢のブナ林と残雪 の富嶽を追う 佐藤芝明 五六六 第三十四回有志閑談会 懐しの後楽園・瀨徳 亭で 高田眞哉 五六七 中高原懇親山行 四尾連湖蛙ヶ岳「第一回赤 シャツの集い」 五六八 『女性登山史』出版記念会のお知らせ 五六八 名誉会員を囲む会 (Y・M) 五七〇 三水区現地集會 秋の五郎岳 高田眞哉五七一 お知らせ 後藤三男油絵展 五七一 H・C・サリーンご夫妻とキャプテン・コー リを囲む会 五七三 三水区現地集會報告 丹沢・鍋割山 五七三 三水区新年山行 秩父・四阿屋山 五七三 平戸孝夫 五七四 お知らせ 松田敏男 山の版画展 五七四 丹水会第二十三回例会報告 秋の御正体へ六 十名 山本正基 五七五 お知らせ 中高原懇親山行 越後坂戸山第二 回赤シャツの集い 五七五 「土曜会」初の会外遠征 サッポロビール干 葉工場見学 入澤郁夫 五七五 三水区一月現地集會・竹寺 高田眞哉 五七六 お知らせ 記念特別展 足立源一郎・北ア プスの世界 五七六 お知らせ 藤江幾太郎・山の画展・第38回 五七六 お知らせ 93日本山岳画協会展 五七七 三水区三月現地集會 高岩山 松本宏夫五七七 三水区四月現地集會 菜畑山・西丹沢源流 五七七 佐藤芝明 五七七 第三代会長木暮理太郎五十回忌 なごやかに 本会記念碑の除幕式 高田眞哉 五七八 お知らせ テレビ放映されます「南極・白い 大地」―白川義員、前人未到の旅路― 五七八 越路・坂戸山第二回赤シャツ懇親山行 五八〇 坂倉登喜子 五八〇</p>	<p>報告・第二十四回丹水会・例会 草鞋ばきで 雨中の沢登り 小川雅庸 五八〇 お知らせ「彩画山影」出版記念 五八〇 三水区・八月現地集會 大山北尾根 五八一 お知らせ 第七回後藤三男油絵展 五八三 報告・第二九三回・三水区現地集會 秋の秩 父シリーズ 三条の湯から雲取山へ 五八三 報告・三水区 新年山行・奥武蔵 乾 能尚 五八三 同好会紹介 三水区 妹尾幸雄 五八六 同好会紹介 丹水会 高田眞哉 五八六 同好会紹介 アルパインスキークラブ 古谷聖司 五八六 同好会紹介 土曜会・赤シャツ会 中川 武 五八六 坂倉登喜子 五八六 報告・三水区 二月現地集會 雪の竹寺山行 中 保 五八七 報告・三水区現地集會 房州「高岩山」 樋口公臣 五八八 報告・二火会懇親山行 春の奥多摩・御岳山 里見清子 五八八 「城ヶ島の地質」現地見学会お知らせ 二火会 五八八 牧潤一、ヒマラヤ名峰展お知らせ 五八八 報告・第三回赤シャツ懇親山行 入笠山・マ ナスル山荘 内藤 勇 五八九 天竜川ウエストン祭 中村純二 五八九 有志閑談会のお知らせ 五八九 藤江幾太郎・山の画展・第三十九回のお知らせ 五八九 94日本山岳画協会展のお知らせ 五八九 大町市制四十周年記念日本山岳画協会展のお 知らせ 五八九 ジャック93会・上高地登山会のお知らせ五八九 同好会「山げらの会」誕生 小倉重子 五九一 報告・三水区・四月現地集會 裏御正体・道 志朝日山 佐藤芝明 五九一 報告・二火会現地見学会 城ヶ島・地質観察 鈴木裕代 五九一</p>	<p>報告・三水区三百回例会 記念山行・草戸山 平戸孝夫 五九二 三人展のお知らせ 五九三 カトマンズでの個展案内 五九三 第八回 後藤三男油絵展お知らせ 五九四 ジャック93会 第一回上高地集會 加藤求二 五九四 変更 後藤三男油絵展 五九五 第三十六回有志閑談会 小石川後楽園・瀨徳 亭で開催される 高田眞哉 五九五 第四回「山好きの山の絵展」お知らせ 五九六 第二回登山集會開催案内 ジャック93会五九六 尾崎喜八記念施設がオープン 五九六 高橋てる子・山の絵展 第二回お知らせ五九六 報告・大盛況だった第二回写真展 アルパイ ンフォトビデオクラブ 北村義男 五九六 報告・八月現地集會 大山北尾根 三水区 平澤哲臣 五九六 報告・「樹木」観察会「樹」について学ぶ 二火会 五九六 報告・秩父シリーズ 金峰山く国師岳 足立むみ 五九六 報告・第四回赤シャツ懇親山行 茶臼山・美 ヶ原高原ホテル 土曜会 賀嶋増造 五九七 会報発行のお知らせ ジャック93会 五九七 コンデ・リ峰登頂報告会 二火会 有賀幸子 五九八 お知らせ 第六回赤シャツの集い 五九八 ヒマラヤの植樹・教育・医療支援ボランティア ア隊員募集 五九八 第二十回「中部博之山の絵」展お知らせ五九八 スケッチクラブ「サン燦会」のお知らせ五九八 山里寿男「山のデッサン館」の「中国への旅」 展覧会のお知らせ 五九九 ビデオ鑑賞会 昭和三十年代の「デオ・ティ バ登頂」を観る 二火会 六〇〇 講演・懇談会のお知らせ 94年度同期会六〇〇</p>	<p>支部情報 第二十八回木暮理太郎翁碑前懇親会報告と次</p>	<p>回の予告 山村正光 五五一 お知らせ 東海支部設立三十周年記念晩餐会 五五一 お知らせ 親睦登山会・大佐渡の山と里五五一 北海道初春山行 ニセコ山系 チセヌパリ 水科行雄 五五三 秋田支部総会・山行報告 佐々木民秀 五五三 プータンヒマラヤ・トレッキング 富山支部 太田 昭 五五三 東海支部創立三〇周年記念出版のご案内五五三 全国支部懇談会 立山集會のお知らせ 富山支部 信濃支部 五五四 第四十五回ウエストン祭 田中弘美 五五四 熊本支部総会報告 田上敏行 五五五 熊本支部春季例会―傾山 田上敏行 五五五 北海道山菜山行 後志山地「雷電山」 水科行雄 五五五 ヒマラヤ気象・環境調査隊 一次隊報告 東海支部 中世古隆司 五五六 北海道初夏山行 後方羊蹄山 水科行雄五五六 天下之靈観碑再建の意義 佐藤一栄 五五七 四川省羊拱山に登る 宮城支部 西郡光昭 五五八 越後支部親睦登山 平成三年度は、大佐渡山 筑木 力 五五八 脈を舞台にして(1) 福井支部が誕生 立山全国集會報告 富山支部 石坂久忠五五九 越後支部親睦登山 平成三年度は、大佐渡山 筑木 力 五五九 脈を舞台にして(2) 北海道秋期山行・お月見集會 渡島山地「雄 鉾山」 水科行雄 五六〇 第二十九回木暮理太郎翁碑前懇親会報告と 次のお知らせ 山村正光 五六一 「大平山・智異山」姉妹山締結報告 秋田支部 佐々木民秀 五六一 親睦登山の予告 浅草岳と山菜共和国訪問 越後支部 五六一 お知らせ 一九九二年越後支部親睦登山五六三 秋田支部総会報告 佐々木民秀 五六五 新支部長紹介 (Y・M) 五六六</p>
---	--	--	--------------------------------------	---



イラスト 中村あや

信濃支部・雨の木曾駒ヶ岳 小松正志 五九六
 東海支部・多数の支部友会員を迎えて 安藤忠夫 五九六
 京都支部・今西先生記念碑完成披露会 酒井敏明 五九六
 年次晩餐会の当日に開催 平成六年度支部長会議 伊藤 敏 五九六
 福岡支部・五月の屋久島登山を視野に 蔵富幸夫 五九七
 熊本支部・秋季例会 筒ヶ岳山行 田上敏行 五九七
 関西支部・赤目左岸台地を行く 先水美智子 五九七
 山形支部・初冬の温海岳山行 阿部勇作 五九七
 屋久島自然観察登山のお知らせ 九州四支部 五九七
 秋田支部・台湾・南湖大山登山報告 佐々木民秀 五九八
 山梨支部・木暮理太郎翁碑前懇親会の報告と予告 山村正光 五九八
 福岡支部 お知らせします・支部役員が交替 五九八
 ・屋久島自然観察登山 五九八
 お知らせ 創立九十周年記念東北ブロック行事 五九八
 中部ブロック記念式典のお知らせ 山梨支部 五九九
 九州ブロック・式典と登山のご案内 東九州支部 五九九
 北アルプスの山開き 第四十九回上高地ウエ
 ストン祭のお知らせ 五九九
 「奥美濃大ヶ岳」探索山行のご案内 岐阜支部(科学委共催) 六〇〇

人事往来

◆一般記事

山の気象研究会会長大井正二氏に秩父宮記念
 学術賞受賞 奥山 巖 五五二
 お礼のこぼし 大井正一 五五二
 春の褒章と叙勲 藍授褒章・沢村幸藏氏、勲
 二等瑞宝章・橋本誠二氏 五五三
 平成三年度各担当理事の運営方針・新委員の
 構成について(1) 五五五
 平成三年度各担当理事の運営方針・新委員の
 構成について(2) 五五六
 中村テル名誉会員住所変更 五五七
 新支部長紹介 五五七
 第28回秩父宮記念学術賞受賞「京都大学ヒマ
 ラヤ医学学術登山隊」(Y・M) 五五四
 ウェストン研究家ハミルトン女史の来日 (Y・M) 五五五
 ハミルトン女史の印象 安江安宣 五五五
 ハミルトン女史と安曇野を旅して 三井嘉雄 五五五
 P会員石村実・日満子ご夫妻永住の目的で新
 疆へ 川崎精雄 五五七
 ウェストン研究家アイオン氏の来日 水野 勉 五五七
 表彰 スポーツ功労者表彰・田部井淳子、安
 全功労者表彰・宮本教男 五五八
 小田稔会員、ローマ法王庁 科学アカデミー
 会員に 五七二
 青海省登山協会訪日代表団本会を表彰訪問 (Y・M) 五七二
 南極観測隊長に本会会員 (Y・M) 五七二
 支部年次晩餐会と室賀氏の藍授褒章受賞祝賀
 会 越後支部 佐藤一栄 五七三
 平成五年度 理事・監事・評議員 五七八
 今西元会長 ネパールの名誉領事に 鳴原啓佑 五七八
 新旧役員交歓会 山田前会長へ「朝のヒマル
 チュリ」を贈呈 (Y・M) 五七九

各委員会・九三年度運営方針 財務委員会、
 会報編集委員会、図書委員会、高所登山委員
 会、資料委員会、海外連絡委員会、青年部 五七九
 各委員会・九三年度運営方針 図書管理委員
 会、山岳研究所運営委員会、自然保護委員会、
 自然保護専門委員会、総務・集委員会、科
 学委員会、学生部 五八〇
 中華民国山岳協会蔡禮樂会長を囲む会 木村俊博 五八一
 ニュージーランド山岳会ジャック・エディ氏
 迎会 大谷 亮 五八一
 小田稔会員 文化勲章を受賞 中村純二 五八三
 劉忠徳中国文化相一行の歓迎会 中村純二 五八三
 吉田宏会員 ブロンズ・ウルフ章受賞、丸山
 彰会員 大町市・市政功労者表彰 (Y・M) 五八四
 クリシュナ氏近況とネパール・日本研究セ
 ンター紹介 松田雄一 五八六
 IMF会長交替 (Y・M) 五八六
 ヒマラヤン・クラブのH・カパディア氏歓迎
 会 (Y・M) 五八八
 蔡禮樂氏を囲んで 木村俊博 五九一
 フラバンド名誉会員を訪ねて 今西壽雄 五九五
 名誉会員動静 佐藤テル会員、今西壽雄会員 五九五
 名誉会員に推薦されて 孫 慶錫 五九七
 阪神震災被害会員状況(一月末現在) 五九八
 ◆訃報・追悼
 三田さんの滋味 田口二郎 五五一
 訃報 三田幸夫氏・笠原潤二郎氏・桜井信夫
 氏 (Y・M) 五五一
 追悼 跡部昌三(本名昌三郎)氏 大口瑛司 五五二
 小原勝郎さんを偲ぶ会 穴田雪江 五五二
 追悼 元会員 畠中善弥氏逝去 穴田雪江 五五二
 訃報 ナムチャバルWNHK取材班の矢内カ
 メラマン雲仙岳で殉職 五五六

献歌と略歴 チョモランマに消し上純一
 君を悼む 宇都木慎一 五五七
 文蔵追憶 藤平正夫 五五七
 後藤幹次さんを偲ぶ「幹山会の集い」報告 梅津 博 五五九
 大西君、安らかに 橋本 清 五五九
 訃報 周百鍾氏逝く (A・O) 五五九
 長谷川恒男君のこと 湯浅道男 五六〇
 大西宏君の冥福を祈って ロバート・スワン 五六〇
 献歌 ナムチャバルワに逝きし大西宏氏を悼
 む 宇都木慎一 五六〇
 追悼 早川種三先輩の死を悼む 田辺 寿 五六一
 追悼 谷口現吉名誉会員 山田二郎 五六二
 追悼 熊谷太三郎氏 (Y・M) 五六二
 三田さんを偲ぶ会 (Y・M) 五六二
 ヘンダーソン夫人を偲んで 村山雅美 五六四
 訃報 アーロン氏・西岡京治氏(Y・M) 五六四
 訃報 田中栄蔵氏 (Y・M) 五六五
 訃報 佐藤敏彦氏 藤平正夫 五六七
 今西錦司氏葬儀 中村太郎 五六七
 我が友、小松寛君を偲ぶ 斎藤惇生 五六七
 今西錦司元会長を偲ぶ 織内信彦 五六七
 早坂敬二郎君のこと 訃報 板倉勝正氏 (Y・M) 五六七
 献歌 岩手支部長 佐藤敏彦氏を悼む 宇都木慎一 五六八
 追想 岡沢拓吉 五六八
 追想 見学 玄氏 (Y・M) 五六九
 今西錦司元会長 追想 富田健一 五六九
 故・高本信子さんへ 佐藤知恵子 五七〇
 今西錦司先生をしのぶ 大谷 優 五七一
 訃報 平野隆司氏 (Y・M) 五七三
 年次晩餐会に谷口現吉君と 金山淳一 五七三
 テレマクを教えた今西錦司氏 月原俊一 五七三
 年次晩餐会に谷口現吉君と(追記) 金山淳一 五七四
 訃報 小野幸氏 (Y・M) 五七五
 名誉会員三氏があいついで逝去 野口末延氏

麻生武治氏、高山忠四朗氏 (Y・M)	五七九	アルパイン・クラブ移転 (Y・M)	五六〇	◆海外の山 (江本嘉伸)		ホキマイ号の冒険	五八八
麻生武治さんの思い出	長島春雄	ピレネーの旅 (上)	中村純二	登山する大	五五一	モンゴルの山をスキーで	五九一
山に還った高山さん	赤羽孝一郎	ピレネーの旅 (下)	中村純二	会議の後に何をするのか	五五二	ヒマラヤは五十歳代の時代	五九二
杉本義信君を偲んで	小林勇次郎	中国青海省登山協会による崑崙崑崙山月間の計画概要 (Y・M)	五六一	「七大陸最高峰」はどこ	五五三	ポニントンの「小さな山」	五九三
麻生翁のスキーシュプール	市川義輝	ブータン・ヒマラヤ登山料の改訂について	五六二	女の二十年史	五五四	あと一息で山頂	五九四
山とスキーの古い友達	麻生武治さんを偲ぶ	アルパイン・クラブライブラリーの紹介 (Y・M)	五六三	二人のエベレスト	五五五	ウクライナ人の「フジヤマ」	五九五
追悼 穂高岳山荘の今田重太郎さんを悼む	伊藤 茂	アマダラム冬期登頂	五六九	東ソ連の新天地	五五七	一〇〇年前のこと	五九六
訃報 先輩の四氏が逝去されました	近藤恒	マッキンリー登山記録の件	五七三	長谷川恒男の死	五五八	南極点スキー・ソロ	五九七
雄氏、長沢佳熊氏、工業英一氏、鶴岡元之助氏 (Y・M)	五八二	アメリカ山岳会の住所変更	五七四	登山家たちが「明日の山」を語った	五五九	ブレイクゲイト	五九八
今西錦司氏を偲ぶ会	高木泰夫	立教大学チヨモレンソ登山隊	五七九	美しきコンボの山	五六〇	クインプで高山病三人目の死	五九九
麻生さんの魂メキシコ富士に登る	市川佐江子	皇帝の冠に立つクラウン峰初登頂の記録	五八三	旧ソ連の山の行方	五六一	ムイシロフスキーの提案	六〇〇
訃報 三島昌夫氏	中村太郎	中国雲南省の四〇〇メートル峰	五八三	マカルーからの生還	五六二	◆J・A・C登山隊関係	
追悼 白い世界に生きた岩下莞爾さん	江本嘉伸	秘境・チャクラギールの北面に入る	五八三	カトリックの冒険	五六三	ナムチャバルワ合同登山隊日中義定書に調印	五五三
追悼 島田巽さんを偲ぶ	織内信彦	マザマ山岳会訪問印象記	五八五	ワンドアの死	五六四	ナムチャバルワトレッキング隊募集!	
追悼 名誉会員・廣瀬潔氏	中村純二	還暦登山隊 コンデ・リ登頂	五九四	烈風への挑戦	五六六	ナムチャバルワ通信(1)	五五四
追悼 河野幾雄君を思い巡らす	望月達夫	神より恵み給うたコンデ・リの頂	五九四	登山途上国・モンゴルの課題	五六七	ナムチャバルワ通信(2)	五五七
村上守君のこと	望月達夫	海外情報 94ポードマン・タスカ賞決まる	五九五	二つの登山の話	五六八	ナムチャバルワ通信(3)	五五八
追悼 笹川慶子さんの踏み跡	中嶋正夫	バンフ・ブック・フェスティバルの立役者は	五九五	東チベットからの朗報	五六九	急告 日中合同ナムチャバルワ登山の打ち切りに当たって	五五九
訃報 鳴原副会長死去	古市 進	ジョー・シンブソン	五九五	「E.A.M.C」とは何か	五七〇	ナムチャバルワ支援隊報告	五五九
河野幾雄さんを偲ぶ会	古市 進	マッターホルン登頂記 かなえられた私の夢	五九七	ビスケットを作って南極を歩く	五七二	ナムチャバルワ通信 (最終回)	五六〇
訃報 辰沼廣吉名誉会員	山田二郎	玉山登山	五九七	クライミングとオリンピック	五七三	一九九二年日本・中国ナムチャバルワ合同登山隊員および事務局員の募集	五六二
追悼 辰沼廣吉さん	日下田実	海外情報 94ポードマン/タスカ賞はソマリスに決まる	五九七	まさかの「登頂五百人」	五七四	一九九二年日中ナムチャバルワ合同登山隊準備開始	五六四
追悼 鳴原啓佑さん	五九九	バル終わる	五九七	ジャヤ峰の実験	五七五	ナムチャバルワ合同登山隊第二回北京会談報告	五六五
◆一般		三つの八〇〇メートル峰登頂	五九七	登山の文化度	五七六	「未踏峰ナムチャバルワ」が受賞	五六五
ビンソンマシフに登る	田部井淳子	エベレストの登頂を目指して	五九七	冒険と「命の水」	五七七	ナムチャバルワ峰支援トレッキング隊のご案内	五六六
ブロード・ピーク登頂	早坂敬二郎	シルバー・タートル隊のダウラギリ主峰登山	五九七	熱帯雨林の山々	五七八	ナムチャバルワ第三信	五六六
カナデイアン・ロッキーに登る(1)	原 謙一	山	五九七	ハン・テングリの異常な夏	五七九	ナムチャバルワ第四信 (付 支援隊トレッキング隊募集)	五六七
カナデイアン・ロッキーに登る(2)	松田柳子	山	五九七	ニルカントに消ゆ	五八〇	ナムチャバルワ第五信	五六八
ゴキョビークに登る	原 謙一	ムスタンの旅・続	六〇〇	バイオリン職人の栄光	五八二	ナムチャバルワ第六信	五六八
五五八				幸運の山	五八三		
五五八				冬のサガルマータ南西壁ついに陥落	五八四		
五五八				トモ・チェンへのローツェ南壁疑惑	五八五		
五五八				エベレストを走った七十二人	五八七		
五五九				メスナーの北極計画	五八七		
五五九				ヒマラヤの焼却炉	五八八		

<p>いスタート ナムチャバルワ短信 重廣恒夫 五六九 一九九二年日本・中国ナムチャバルワ登山隊 壮行会ひらかる 高田眞哉 五六九 ナムチャバルワ第七信 ほぼ予定通り、登頂 態勢へ 重廣恒夫 五七〇 速報！ナムチャバルワ峰初登頂に成功(十月 三十日) 山田二郎 五七〇 再びナムチャバルワへ 山田二郎 五七〇 橋本龍太郎名誉総隊長、ナムチャBCを訪問 橋本 清 五七〇 ナムチャバルワ初登頂成功にあたって 山田二郎 五七一 ナムチャバルワ第八信 ついに、未踏の頂上 に到達！ 重廣恒夫 五七二 ナムチャバルワ登山隊員 スポーツ功労者と して表彰 五七二 おめでとございます 金山淳二 五七二 短歌 ナムチャバルワ初登頂に寄す 五七一 ナムチャバルワ初登頂テレビ放映のお知らせ 宇都木慎一 五七一 ナムチャバルワ初登頂 訪中祝賀団報告 (Y・M) 五七二 ナムチャ登山隊の帰国と訪日中国祝賀団の来 日 祝辞 D r e b i e t r o ・セガチーニ 五七二 ナムチャバルワ初登頂祝賀会 約三百五十名 集い、偉業讃える 高田眞哉 五七二 「ナムチャバルワ峰登山隊報告会」も 高田眞哉 五七二 ナムチャバルワ峰登山隊支援トレッキング隊 報告 高田眞哉 五七二 お知らせ ナムチャバルワ写真展 五七四 ナムチャバルワ登山隊 日本スポーツ賞優秀 団体に 五七五 一九九五年マカール峰登山隊員募集 藤平正夫 五八五 日本山岳会創立九十周年を迎え マカール峰 東稜登山を計画 藤平正夫 五八五 「悠久岳詣」―訪台登山交流団報告―</p>	<p>合歓山登山 松田雄一 五八九 雪山登山 諏訪 弘 五八九 マカール登山隊一九九五の事務局開設!! 五九〇 マカール登山隊一九九五 重廣恒夫 五九一 マカール東稜に挑む(第二報)重廣恒夫五九三 マカール登山隊 隊荷梱包作業支援のお願い 五九三 マカール東稜に挑む(第三報)重廣恒夫五九五 会員募金のお願ひ 五九五 マカール登山隊支援トレッキングのご案内 五九七 マカール東稜に挑む(第四報)いよいよ出発 重廣恒夫 五九八 マカール登山隊一九九五壮行会 登山の成功 を祈って盛大に開催 小倉 厚 五九八 マカール登山隊 大雪のため道路閉鎖も!! マカール登山隊事務局 五九九 マカール通信 ・5・6・7・8・9 重廣恒夫 六〇〇</p>	<p>在りし日の三田元会長(写真) 五五一 川口慧海顕彰立像写真 五五一 機上より見たアピ南面写真 五五一 山岳史懇談会写真 五五一 シンポジウムが開催された青山学院大会の会 場写真 五五一 ヒマラヤドライブ経路図 村山雅美 五五二 秩父宮記念学術賞授賞式写真 五五二 ナムチャ・議定書調印風景写真 五五三 グリニランド地図 岩本美津雄 五五三 総会風景の写真 小倉 厚 五五四 五輪塔の図 広瀬 潔 五五四 名誉会員を囲む会写真 五五四 自然保護全国集会以て挨拶する藤平副会長 花カッター(写真) 中村武雄 五五五 五五七 五五七 五五七 尼ヶ禿山中腹にて(写真)大森弘一郎 再建なった(鈴木牧之)顕彰碑写真 五五七</p>	<p>南ア山岳会百周年記念パーティー写真三葉 アシニポイン(写真) 阪本公一 五五八 原 謙一 五五八 倒壊したセンサーとその支柱(写真) 大蔵喜福 五五八 山研前にて(あんころ餅と薬湯の会)写真 五五八 ペン・ネヴィスの北面写真 大森久雄 五五九 在りし日の大西氏(写真) 吉田 宏 五五九 立山集会写真 五五九 ナムチャBCにて(写真)大森弘一郎 五五九 平成三年度年次晩餐会会場風景(写真) 羽田栄治 五六〇 H A T J シンポジウム写真二葉 五六〇 故長谷川恒男氏写真 五六〇 再建進むタンポチ僧院写真 五六〇 ビレネーの地図 中村純二 五六一 カット 中村あや 五六二、五六四、五六〇 虚空蔵峠にて(写真) 小林 碧 五六三 中高年登山対策全国大会風景写真 坂本正智 五六三 マッキンリー気象観測データ三図 五六三 古い土曜会名簿の一部 五六四 ヘンダーソン夫人写真 五六四 マッキンリー気象観測データ図 五六四 第二十回山岳史懇談会会場風景写真 五六四 カット(宇都木慎一)五六四、五六五、五七 一、五七四、五七六、五七七、五九一、五九三 山研地鎮祭写真 五六五 山研平面図(三枚) 五六五 ハミルトン女史との懇談会写真 Y・M 五六五 総会(平成四年)風景写真 山口俊輔 五六六 ヒマラヤ・コードの原文 五六六 マップモニターカット 五六六 一等三角点を訪ねる今西さん写真 五六七 在りし日の早坂氏写真 五六七 鉄筋組み工事に入った新山研(写真) 五六七 自然保護全国集会場風景写真 五六七 第46回ウエストン祭写真 五六七 地上に姿を現した新・山研写真 五六八 壮行会で隊員紹介する重廣隊長写真</p>	<p>小倉 厚 五六九 巨体を見せた新・山岳研究所(写真) 五六九 新・山研上棟式風景写真 五六九 年次晩餐会での故今西元会長写真 富田健一 五六九 カット 新しいACライブラリーの外観五六九 いよいよ完成が近づいてきた新・山研(写真) 高柄山頂にて(サタデープラン)写真 五七〇 完成まじかの新・山研(写真) 五七一 故今西先生、恒例の山頂の儀式?写真 五七一 U I A A 松本集会場風景写真 五七一 ウエストン祭(青森)写真 五七一 一丁平でのライオンスクラブのセレモニー写 真 小倉 厚 五七一 年次晩餐会写真 梅本知栄子 五七二 竣工検査の終わった山研(写真) 五七二 ナムチャ訪中祝賀団写真二葉 五七二 ナムチャ祝賀会風景写真 五七二 青海省登山協会一行写真 五七二 学生会部のマラソン大会風景写真 五七二 皇太子殿下写真 五七三 「英彦山の集い」写真 五七三 第二回中高年登山対策全国大会会場風景写真 南極点記念ポールにて(写真) 五七五 御正体山頂にて(丹水会・写真) 五七五 エレベスト空撮写真 大森弘一郎 五七六 旧正丸峠にて(写真) 小倉 厚 五七六 黒斑山山頂にて(写真) 五七六 山研竣工式写真 五七七 アルパイン・クラブの建物(写真) 五七七 川崎精雄 五七七 自然保護・シンポジウム会場風景写真 五七七 カット アーネスト・サトウの署名 五七七 総会にて挨拶する山田二郎会長(写真) 五七八 木暮翁記念碑(写真) 五七八 上高地の新装なった「さんげん」(写真)五七九 藤平会長より山田前会長へ「朝のヒマルチュ リ」贈呈(写真) 五七九 徳本峠で故高山氏写真</p>
---	---	---	---	--

